

しょうなんしんどう
かんれんいせき

湘南新道

関連遺跡

六ノ域 (ろくのいき) 遺跡
大会原 (だいえばら) 遺跡

▲最新情報▲

所在地	六ノ域遺跡： 平塚市真土 大会原遺跡： 平塚市四ノ宮
時代	縄文時代 弥生～古墳時代 奈良・平安時代 中世 近世以降



湘南新道関連遺跡では、神奈川県県土整備部平塚土木事務所が現在計画を推進中の、都市計画道路3・3・6号湘南新道街路整備事業に伴う発掘調査を、平成12年度から継続的に実施しています。

事業地内は、
四之宮廃寺跡 (しのみやはいじあと)

大会原遺跡 (だいえばらいせき)
坪ノ内遺跡 (つぼのうちいせき)
六ノ域遺跡 (ろくのいきいせき)

という名称で周知された遺跡の範囲にあたり、周辺地域はこれまで度重なる発掘調査が行われた結果、古



▲六ノ域遺跡4-7地点 古代面全景

代相模国（さがみのくに）の政治的拠点（きよてん）のいわゆる相模国府（こくふ）跡地として有力視されています。

発掘調査ではそれを裏付けるかのように、奈良・平安時代を中心とした遺構（いこう）や遺物（いぶつ）が数多く発見されました。

調査した遺構は、平成 12～14 年度の調査で竪穴住居 111 軒、井戸 5 基、溝状遺構 35 条、畝（うね）状遺構 1 ヶ所、土坑・ピット多数（掘立柱建物（ほったてばしらたてももの）含む）にのぼり、出土した主な遺物としては、緑釉（りょくゆう）・灰釉陶器（かいゆうとうき）、須恵器（すえき）、土師器（はじき）、金銅製品（小仏像・刀の足金具・帯金具（おびかなぐ））、瓦（軒丸瓦（のきまるがわら）・平瓦・丸瓦）、鉄・石・土製品、獣骨などがあげられます。

今年度は大会原遺跡・六ノ域遺跡の一部を対象として、4～10月までの7ヶ月間発掘調査を行う予定になっています。



▲六ノ域遺跡 4-8 地点 近世の墓



▲大会原遺跡 14-7 地点 古代面全景



▲大会原遺跡 14-8 地点 中世の井戸